



Pre「医療専攻」たより



新潟県立小出高等学校 Vol.1 令和5年5月17日

4月28日（金）に、1年生を対象とした「第1回 医療専攻講演会」を実施しました。本校「医療専攻」アドバイザーである小出病院院長 布施 克也 様を講師にお迎えし、「医療を仕事にする」という演題で御講演いただきました。



布施先生のご講演より

はじめに、小出高校の医療専攻コースの活動について、昨年のプログラムの様子を、写真を交えながらご説明いただきました。

そして、「医療という仕事」についてお話をいただきました。医療は「Life」を支える仕事であり、人々の「Life」を支えるために多くの専門職が存在しています。そこでまず、医療や福祉の専門職について、具体的な事例をあげながら、わかりやすくお話いただきました。医療と言っても医師や看護師だけでなく、放射線技師や言語聴覚士など、今まであまり耳にしたことのない医療の専門職があることを学ぶことができました。小出病院に実際に勤務されている医療従事者の方の写真や、それぞれの専門職の仕事内容から、生徒たちは身近な小出病院にこんなにも多種多様な医療のスペシャリストたちが働いていらっしゃるということを実感していました。またそれぞれの医療の専門職が連携、協力しあって一人の患者さんのLifeを支えているということを知りやすくお話していただきました。



また、「医療従事者に向いている資質」についても触れていただきました。将来医療の道に進みたいと考えている生徒だけでなく、今まで医療分野の進路を考えたことがなかった生徒も、興味を抱きかけになったようです。1年生にとって初めてとなる「医療講演会」でした。将来、医療現場で人の役に立ちたいと考えている生徒や、なりたい医療職が決まっている生徒は、ぜひ今後も医療専攻で学習を深めてほしいと思います。

生徒の質問

・医療従事者として、亡くなった人を前にする場面が多くあると思います。働いていてそのような場面に遭遇するときに、どのような気持ちを大事にしていますか？

—たくさんの患者さんを看ていると、事故であったり、突然の死に遭遇することがあります。私たち医療従事者以上に、ご家族の方々も辛い思いをされます。私たちは、そうしたご家族の辛い気持ち、悲しみを、そばで一緒に寄り添うことが大切だと考えています。また、現在の医療では、亡くなり方も大切なテーマです。寿命にせよ、病と闘った末のお別れだったにせよ、亡くなる人たちへの敬意を示すことは大切なことだと思います。その人の人生に価値があったと周囲が認め、笑顔で終わる亡くなり方ができるといいと考えています。

・私の母は医療従事者ですが、自分が医療に携わりたいのか、まだ考えが定まっていません。今日の講演で医療という仕事に興味を湧きましたが、仕事を選ぶ上でどのようなことを考えればよいでしょうか？

一世の中には様々な仕事があります。ぜひ、自分がワクワクすると感じることを仕事にしてほしいと思います。また、あなたのそばに医療従事者がいるのであれば、ぜひ仕事のやりがいを聞いてみると良いでしょう。おそらく医療に携わる人は、他の人の喜びを自分の喜びにできる、他人を幸せにすることでハッピーになれる人なのではないかと思います。仕事を選ぶ上で大事なことは、ワクワクすることだと思っています。自分が何にワクワクするのか、皆さんの周りで仕事をしている人は何にワクワクしているのか、ぜひ色々聞いてみてください。



生徒の感想

・今日の講演を聴いて、印象に残っているところは、**医療はLifeの始まり、終わりをサポートできる仕事**だということです。自分はたくさんの人に支えられて生活できていると思いました。

・**寿命で死を迎える方には笑顔で見送るとおっしゃっていて、人の死は悲しいと私は受け止めてしまっていたので、その考え方はすごく人を楽にするな**と思いました。医療にあまり関心がありませんでしたが、話を聞いて少し関心を持つことができました。

・**「感性と理性のバランス」「利他の気持ち」というところは何をするにしても大切だ**と思いました。いろんな職業を知ることができ、可能性が広がったと思います。学業をがんばろうと思いました。

・人のためにする仕事は大変だと分かりました。ですが、話を聞いて、大変な分、やりがいも多くあるんだろうなと思いました。布施先生が**医療に関わる人たちは自分より他人を優先している**とお聞きして、すごいなと感心しました。これからは、医療に関わる人たちへの感謝を忘れず、健康に暮らしたいです。

・**自分が知っている職業の他に、いろいろな仕事を知れて、自分に合う仕事が見つかり**そうですし、気になる仕事を見つけることができたのでよかったです。医療はチームワークが大切なので、とてもいいなと思いました。

・**「患」という字のとおり、心に串刺しになっている患者さんの心から、串をとってあげるのが医療従事者である、という話が分かりやすかったし、素敵な考えだな**と感じました。私は、毎日の薬がめんどくさくて飲まない、塗らない日があるけれど、自分のために調合してくれた薬剤師さんや診断してくれる医師の今までの大変さを知ったので、めんどくさくても、治すために毎日続けようと思いました。

・自分が病院に行ってお世話になるのは受付・医師・薬剤師などくらいとっていたが、**話を聞いてもっとたくさんの人達に支えられているのだ**と分かりました。

・医療は病気を治すだけだと思っていたけれど、**人生の最後を平和に終わらせてあげるのも医療だ**と聞いて、確かにそうだなと納得しました。医療は患者だけではなく、その家族にも寄り添う大切な職業なんだと思いました。

・**ワクワクしたらやってみようという考え方は医療以外にも役に立つ**と思いました。またlifeをよくするために病院ではたくさんの方々がチームとして協力して人々を助けていることを知りました。

・私は医療専攻を志望しているので、今回のお話でより医療に対しての関心が深まりました。lifeを支える仕事であることを学んだので、**誰かのlifeのために働きたい**と思いました。これからも勉強に励んで頑張りたいです。

・医療という仕事は体と心を支える仕事なのだと思います。私はスクールカウンセラーの夢を持っているため、今回の講演を通して、**「誰かを助ける」ことにより興味を持ちました**。はじめは医療専攻を受けるつもりはなく聞いていたが、講演を聴いておもしろそうだったため、受けてみようかと思いました。